

☆単元名『この詩の良さはどこにはあるのか』

「読むこと」エ文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつこと。」

課題①「春に」という詩を、言葉に着目しながら音読しよう。



☆大声を出す必要はありません。自分だけに聞こえるくらい大きさを、言葉を丁寧に読んでみてください。

課題

課題②「ああ、こは、この表現は

A「詩」というもののよさをよく表しているなあ」というところを探し、

例のように「詩」の表現を取り上げて B「どのようなよさがあるか」という自分の考えを書こう。



☆できるだけたくさん見つけようと取り組もう。例を参考に自分の考えを数行程度で書こう。

学習のポイント📌は「普通の文章」と「詩」との違い。これまで学習してきたことを思い出そう。

課題②Aの例

声に出してみると、句読点がなく続けて書かれているから、リズムがよく、一気に読上げることができる。



課題②Bの例

そのことでエネルギーの流れもどこかでつかえることなく一気に駆け上がり、今にもあふれそうという語り手の気持ちが印象強く伝わってくる。

課題②Aの例

この詩の中に合計四回も登場する。声に出して読んだときにリズムをよくする働き以外にどんな役割を果たしているのか。

課題②Bの例

「この気持ちはなんだろう」といったあと、「この気持ちをなんとか説明しようとするが、なかなか言葉にならない。そして、ふたたび、「この気持ちはなんだろう」と問いかける。これは、誰かに問いかけているようだが、実は自分に問いかけているんじゃないか。自分に問いかける形で、自分の心に向き合っている。けれども、なかなか答えが出ない。だから何度も問いかけている。詩の最後もこの言葉で終わっている。無限に答えの出ない問いを抱えて若者が成長していく…そんな様子が詩から読み取れる。

この気持ちはなんだろう
目に見えないエネルギーの流れが
大地からあしのうらを伝わって
ぼくの腹へ胸へそうしてのどへ
声にならないさけびとなってこみあげる

この気持ちはなんだろう
目に見えないエネルギーの流れが
大地からあしのうらを伝わって
ぼくの腹へ胸へそうしてのどへ
声にならないさけびとなってこみあげる
この気持ちはなんだろう

この気もちはなんだろう

目に見えないエネルギーの流れが

大地からあしのうらを伝わって

ぼくの腹へ胸へそうつしてのどへ

声にならないさけびとなってこみあげる

この気もちはなんだろう

枝の先のふくらんだ新芽が心をつつく

よろこびだ しかしかなしみでもある

いらだちだ しかもやすらぎがある

あこがれだ そしていかりがかくれている

心のダムにせきとめられ

よどみ渦まきせめぎあい

いまあふれようとする

この気もちはなんだろう

あの空のあの青に手をひたしたい

まだ会ったことのないすべての人と

会ってみたい話してみたい

あしたとあさってが一度にくるといい

ぼくはもどかしい

地平線のかなたへと歩きつづけたい

そのくせこの草の上でじっとしていたい

大声でだれかを呼びたい

そのくせひとりで黙っていたい

この気もちはなんだろう

自己評価をしましょう



この自己評価は皆さん自身が自分の学びを振り返るためのもの・皆さんの理解度や疑問を知るための、先生の評価とは関係ありません。

課題①詩「春に」を、言葉に着目しながら丁寧に音読することができたか。

十分に できた。満足。	まずまず できた。	自信はないが なんとかできた。	できなかった。
----------------	--------------	--------------------	---------

あれば

【一言コメント

】

課題②詩というもののよさを発見し、できるだけたくさん書き出すことができたか。

十分に できた。満足。	まずまず できた。	自信はないが なんとかできた。	できなかった。
----------------	--------------	--------------------	---------

あれば

【一言コメント

】

課題③詩から読み取ったことを、声に出して誰かに届けるように読んだか。

十分に できた。満足。	まずまず できた。	自信はないが なんとかできた。	できなかった。
----------------	--------------	--------------------	---------

あれば

【一言コメント

】

課題④「春に」の魅力を一つ取り上げ、この詩の魅力を他者に伝えるために書けたか。

十分に できた。満足。	まずまず できた。	自信はないが なんとかできた。	できなかった。
----------------	--------------	--------------------	---------

あれば

【一言コメント

】

🌟学習を終えて、分からないこと、疑問に思うことがあれば書き出しておこう。



詩の中の表現を取り上げ、そこからどんなことが伝わってくるのかを取り入れて書くこと。
字数については特に指定しません。



課題③この詩のよさが伝わるように、声に出して誰かに届けるように読もう。
黙読ではなく、声に出したことで引き立つこの詩の良さに気づきたい。

課題④ここまでの課題を経て、「春に」という詩の魅力をひとつ取り上げ、改めて、他者に伝えるつもりで書こう。